



四条囃福祉会

なわて 福祉だより

〒 575-0022

大阪府四條畷市南野 2463

社会福祉法人 四条囃福祉会

発行人 上原 治

TEL 072-876-3334

FAX 072-876-6006

メール info@nawate.or.jp

ホームページ

<http://www.nawate.or.jp>



訃報とおわび

4 月から入所利用の予定で 2, 3 月とショートステイをご利用されていた方が、去る 3 月 29 日朝食中に職員の見守り支援の不手際により食べ物を喉に詰めてしまい、心肺停止状態で救急搬送され、翌 30 日ご逝去（享年 41）される事故が発生しました。

あつてはならぬ事故をおこしてしまった事に対しまして、かえすがえすも申し訳なく、おわびの申しようもございません。故人には心よりご冥福をお祈り申し上げます。

死亡事故が発生した 3 月 29 日より事実確認を行い、取り急ぎ、御遺族、行政、関係機関に第一報目の事故報告をさせて頂きました。

今回のご利用者の死亡事故を重く受け止め、外部の第三者機関による事故検証委員会を設置し、事故原因を究明して支援の改善・再発防止に向けて一層の努力を傾注していく所存でございます。

最後になりましたが、安心安全を第一義的に求められる福祉施設として今後ともに命を守る社会資源である事をめざしたいと存じます。

理事長 上原 治

河内手をつなぐ親の会 講演会の研修に参加して

2 月 19 日に河内手をつなぐ親の会講演会の研修に参加させていただいた。講師は NPO 法人権利擁護たかつきの増田和宏事務局長で、テーマは「成年後見制度と後見人活動の現状」である。

成年後見制度とは、後見人等が本人の利益を考え代理として契約等の法律行為をしたり、また本人のそれに同意を与えたり、逆に不利益な場合は取り消すことにより本人を保護・支援することをいう。成年後見制度は法定後見制度と任意後見制度の 2 つに分かれているが、今回は法定後見制度についての講演だった。さらに法定後見には後見・保佐・補助の 3 種類があり、これらは本人の判断能力に応じて分かれているが、IQ（知能指数）で決まるわけではなく、医師の診断書と家庭裁判所の判断によるとのことだった。さて、後見人の仕事の具体的な内容であるが、大きく分けて身上監護と財産管理があり、前述の代理権・同意権がその中身となるが、それらは家庭裁判所で認められて初めて本人の代わりができるというものだ。また後見人は誰もが出来るわけではなく、一人につき後見人一人と限定されてもいない。その報酬は弁護士、司法書士だから高くなるわけでもない。



以上の細かな説明の後に法定後見の事例紹介があり、本人の生活の質を向上させるために施設の管理者やスタッフとの話し合いの場を設定して定期的に訪問することで、第三者の目と本人の代弁者としての存在となることが出来た、とのものだった。最後の質疑応答では具体的な質問が多く、その答えとして後見人の解任はできない、後見人それぞれにやり方が違

う、大阪では後見人は弁護士と司法書士が多く、後見をうけている NPO 法人はほとんどない、など制度のメリット・デメリットも含め解説していただいた。

今後はどのような立場の人でも成年後見制度を利用する機会があると思われる。良い方向に改善されるよう注視していかなければと思った。
(平尾 恵子)

今年度のなわて更生園の動きに関して

新年度が始まりひと月が経ちました。新設のグループホーム「しとみやの家」はようやく落ち着いてきた頃でしょうか。併設のショートステイに関しては 4 月同時スタートとはいきませんでした。5 月より法人内のご利用者に限って利用の受け入れを始めることとなりました。地域のご利用希望の方には受入れ予定の見通しをお示し出来ずにご迷惑おかけしますが、安心して支援させていただくにあたりもうしばらくお待ちくださいますようご理解よろしくお願い致します。

さて、話は変わって今年度のメインイベントであります。平成 2 年に建設された入所施設が 26 年目を迎えます。四半世紀も経てば老朽化による支障が出てきております。外壁塗装、屋上床防水補修、電気設備更新等の館外の修繕が懸案事項でした。館内では、開所当初からご利用されている方々も同等の歳を重ねられ、ハード面の高齢化対応も同様の案件でした。トイレの洋式化、トイレスペースの拡充、脱衣室のレイアウト変更等、高齢化の動きにスムーズに合わせられるようリフォームが 9 月より 3 か月の間予定されております。その間は保護者の方には可能な範囲での帰宅の御協力をお願いすることも考えられます。また、地域の方におかれましては各行事の中止変更等で調整をお願いすることもあります。さらに、地域のご利用者においてはショートステイの利用制限等も考えられます。皆様のご理解・ご協力を頂戴しながらこの度の改修工事を進めて参りたいと思っております。

(上原 文裕)

ついにスタートしました！

昨年の 9 月から着工し、平成 28 年 4 月グループホーム「しとみやの家」（ショートステイ併設）が開所しました。ここに至るまでには、色々なことがありすぎて「無事に開所できるだろうか？」と内心思ったこともありました。毎週の定例会で提案、意見、要望を出し合い進めてきましたが、マン・パワー不足がずっと解決しないままここまでできました。また新しい生活が始まろうとしている利用者さんには宿泊訓練（カリンにて）を行い、世話人さんとの関係作り、そしてお互いを知っていただく為に回数を重ねました。その際には、保護者の方々にも協力をしていただきありがとうございました。

よりよい生活をその人らしく送れるよう、この「しとみやの家」がその場所になればいいなと願います。地域の方々の理解と協力がある地域に「しとみやの家」があり、気軽に声をかけて下さったりしていただけるのも薮屋作業所が前にあり長年その地域で知ってもらえているからだと思っています。「しとみやの家」も地域でかわいがっていただけるよう、そして気軽に遊びに来ていただけるような「家」になればと思います。

今後、法人の利用者さんはもちろんのこと地域のグループホームを必要としている方々にも利用、必要とされる「家」ができればと思います。まだまだ地域でその人らしく暮らすことを必要とされている利用者さんがおられる中で私達支援員、そして法人全体で考えていかなければならないことを改めて感じました。

この「しとみやの家」を開所するにあたって親の会を始めとする多くの方々のご協力のもと無事この日を迎えることが出来ました。内覧会の際にも多くの方に来ていただきありがとうございました。今後ともご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。

（佐藤 朋子）

グループホーム担当職員です！ 今後ともよろしくお願いします！！



グループホーム しとみやの家！！

しとみやの家の中を少しずつですが
ご紹介していきます！

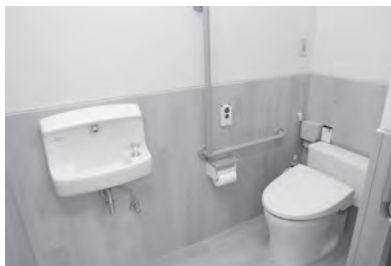
外観です



↓洗面台はレバーがついており、個人個人で高さが調節できるようになっています。



↓トイレはお2人に1つの割合であり、広々としたリラックス空間になるようにしました。電気は感知式です！



↑エレベーターが設置され、ストレッチャーも入ることが出来るよう
広いつくりになっています



→お部屋は
みなさん個
室です。



↑浴室は暖房完備で、機械浴も設置
しています。介助しやすいような浴
槽の配置にも配慮しました。



↑浴槽は少し浅めに作って
いて、利用者さんの出入り
もしやすいようにさせてい
ただきました。



←リビングは男性・女性居室の間に
あり、広々と過ごしていただけるよ
うになっています。日当たりもよ
く、明るい空間です。

内観です

1 日外出in信貴山

津の辺

3 月 4 日に信貴山のどか村に一日外出へ出かけました。今回の狙いは楽しく過ごしていただくのは勿論ですが、もうひとつは「自己決定」を目的に入れてみました。まずソーセージ作りを体験して貰いました。事前見学で講師の「本人さんを選んで貰う事が大切！」という熱い思いもあり、それぞれ 4 種類の味(初恋味・カレー・チョリソ・シボラタ)から 1 つ選んでもらって作りました。



手作りウイナー!

昼食のメニューにおいても、事前にアンケートを取り、「からあげセットもしくはコロッケセット」を選択していただきました。皆さんご注文通りの食事だったので満足そうに食べられていました。

その後の自由時間では、お土産を買ったり、ジュースを飲んだり、ソフトクリームを食べられる方もいたり、それぞれお小遣いの範囲内で楽しめていました。天気も良く、絶好の一日外出日和でした。

(旗手 和彦)



メインイベント!?



食後のデザートです!

歯科検診

津の辺

26 年度は、職員の歯磨き支援の向上を目的にライオン歯科講習を実施しました。27 年度は、歯科検診という形で利用者さんの口腔内の様子を歯科医に診ていただき、更に、職員はそれに対する歯磨きの仕方を指導していただきました。

当日の朝礼で、利用者さんには絵カードを用いどのような流れで行うか説明しましたが、始まるにつれ皆さん表情が強張るばかり・・・。

しかし、衛生士さんの優しい言葉に落ち着きを取り戻しスムーズに終える事が出来ました。皆さん磨き残しがあったり虫歯があったりする中「一人の利用者さんは言う事なし! 綺麗に磨けているからこのままの状態を維持してください。」とお褒めの言葉を頂いていました。

さて、ここで問題。

Q. 1 日のうち歯を磨くベストタイミングはどこだと思いますか?

- ① 口腔内をすっきりさせ目覚めを良くする朝。
- ② お昼ご飯を食べ眠くなるころをすっきりさせる昼食後。
- ③ 夜、寝る前。

正解は夜、寝る前とのことです。夜寝ている間に、口腔内で虫歯菌が増殖したりするので、きっちり歯を磨いてから寝るのが良いそうです。もちろん、毎食後しっかり歯を磨くのが 1 番良いのですが。皆さんは、歯医者に定期通院していますか? 歯が痛くなってから歯医者に行く人がほとんどだと思います。この記事を読んだ人は良い機会ですので、一度歯医者に行ってそれぞれのお口のチェックをされてみてはいかがでしょうか?

(石橋 陸)



アートの魅力

四条作業所

2月17日から5日間にわたって大東市障害者アート展が開催され、私は、スタッフとして携わらせていただきました。

大東市在勤・在学・在住の知的・精神・身体の障がいのある方を対象にし、芸術活動などの創作的活動を通して自己を表現し、社会自立を目指すために発表の機会を作ろうという目的で始まり、今年で早6回目となりました。

個性豊かな表現者たちが、この日の為に作品を自分のペースで作成して各々の事業所・学校も日々の生活の中で埋もれてしまいがちな作品や思いをアートという額の中に表現していく。当然、毎日自宅で作られている方もおられます。6回目という事で作品の表現の仕方や想像力がそれぞれ進化してきているように感じます。



超大作！

四条啜福社会として津の辺・四条作業所も出品させていただき、去年は四条作業所の利用者さんが自立ネット賞をいただくことができました。「今回も！」とご本人さんは半年前から作成に入り、今年は本人の絵画の絶妙な色使いを使用した「クッション」を出品しましたが、残念ながら賞をいただく事はできませんでした。しかしご本人さんは自身の作品を見に行った際、とても満足げな様子でした。

スタッフとしてギャラリーの当番をしているとき、各々の出品者さんが作品を作る経緯やどのように作ったかを説明されたりする事や、自分自身の作品をご満悦の表情で見る姿は本当にこの機会があつてよかったと感じる瞬間でもあります。芸術と一口に言ってもなかなか難しいですが、やはり自分が感じた物事を人に伝えたり話したりする事、それだけで十分に芸術活動なんだと考えさせられるアート展でした。

(山本 秀明)

ドキドキ！ワクワク！

葎屋作業所

平成27年9月1日からショートステイ併設型グループホーム、しとみやの家新築工事が葎屋作業所の目の前で始まりました。鉄骨2階建て、建築面積が224㎡(約68坪)もあり、1階はショートステイ、2階はグループホームとして運営される予定になっています。この「なわて福祉だより」が皆さんの手に届く頃には無事に工事も終わり、グループホーム事業も順調に開始されているかと思います。

工事現場が葎屋作業所の本当に目と鼻の先なので、建設工事当初から建設用器具の搬入、地盤や周辺道路の整備等かなり大きな音が出るため、利用者さん達も不快な思いをされているのではないかと心配していましたが、この原稿を書いている2月中旬の工事完成間近に至るまで、気にされている方はほとんどいませんでした。

しかし2月15日～17日にかけて、ちょうど目の前の道路が電気工事等で一人通れるほどの幅しかない状況になり、そのあおりで利用者のお一人が普段とは違う経路で葎屋作業所に通所されることになり、彼は工事現場全体が見渡せる土手にのぼって、「いつまで工事してるんや！！」と、大きな声で叫び、その後すっきりした様子で葎屋作業所へ帰ってこられました。

結局、影響があったのは、この1件だけで職員の取り越し苦労だった様です。

(福留 真二)



どんな建物ができるかなあ

芽吹くといいな・・・みなみの工房

春の足音が近づいてきた 2 月のある日、みなみの工房自慢の花壇で何を植えようか、みんなで悩んでいました。花壇は地域の短期大学から寄付金をいただき、玄関に設置した経緯があります。本当に感謝の気持ちで一杯です。例年はお花を植えるのですが、今年はジャガイモも植える事にしました。なぜなら、出来によってはみなみの工房のオリジナルのクレープができるかも？！と意気込み決定しました。意気込むまで良かったのですが、ジャガイモを植えた経験が無かったので、“さてどうしよう。そうだ、近くの農園活動をしている事業所へまずは聞いてみよう”



早く芽が出ろー



と、お伺いしました。「種芋 3 つぐらいあったら、調度いいんちゃう」と男爵いもの種芋を分けてくださり、準備が整いました。土を耕し、種芋を植えつけようとしていたら、なにやらご近所みなさんが心配そうな眼差しでこちらを見ているではありませんか。それでもそのまま作業を続けていると「種芋に灰をつけたか、ちゃんと干さんと腐るで。」また違う方からも「ジャガイモの肥料はこうやって撒くんやで」と親切に教えていただきました。その甲斐あってなんとか植えつける事ができました。

当たり前抜群！

さて、この原稿が皆様の手に届く頃には、ジャガイモの成長はどうなっているのかなと期待しつつ、改めてみなみの工房は、地域との交流があって支えられ、活動が盛り上がっているんだと、ジャガイモ作りを通して感じました。

(上原 和人)

かつてない大きな変化です！！ なわて更生園

この 4 月より GH「しとみやの家」がスタートし、それに伴いなわて更生園も今までにないメンバーチェンジがありました。5 名の方が入れ替わるというのは、利用者さんにとっても、職員にとっても、とても大きな出来事です。お一人ずつご紹介していきます。



たかしま もとひろ

高島 元太さん



まつしま こうすけ

松島 亘佑さん



やまざき たもつ

山崎 保さん



ながとも ゆう

長友 優さん



やぶき じゅか

藪木 樹河さん

みなさんそれぞれ、歌が好きだったり、食べることが好きだったり、個性と愛嬌に溢れておられます。これからもっともっとみなさんの事を知っていききたいと思っています。よろしくお願いします！！

備えあれば憂いなし！！ 忍丘作業所

～作業所の防災対策の巻～

私たちの作業所では、年に 1 回社会体験と題して「阿倍野防災センター」に行っています。ここでは、バーチャル地震を体験したり、消火器の使い方を練習したり、煙の中の避難の仕方を体験します。毎年同じことを繰り返し体験するため、随分と手際もよくなりました。また、大阪 880 万人避難訓練が実施される日には、携帯電話のアラームを合図に避難する練習をしています。本当は、忍ヶ丘小学校が避難場所になっていますが、高台にあることとその後の対応を考慮して、四條畷小学校へ避難することにしています。この他にも、2 年に 1 回は「津波高潮ステーション」に行きます。ここでは、津波の映像を見たり、避難の方法などについて話を聞きました。さすがに、四條畷市にまでは津波はこないようです。本来は通所事業所なので、ご家族と連絡を取りながら行動することになります。しかし、災害は予測不可能、何がどうなるかなんてわかりません。そこで、避難する時やその場でしのぐ時のための「ヘルメット」「非常用トイレ」「サバイバルシート」「水」「ごはん」を準備しています。



ここ数年の間に大きな地震が来るのではないかとされていますが、みなさんの所でも備えや心構えはできていますか。

(川原 裕美)

防災グッズ

心療内科と精神科と神経内科のちがい

支援センターしのぶが丘



現代人はストレスと戦っていると言っても、過言ではありません。センターの業務の中でたまに通院等の調整を行うときもありますが、そんなとき、よく戸惑ってしまうのがどの科を勧めたら良いかです。特に心療内科と精神科、神経内科は言葉の響きが似ているので間違いやすいですね。今回はこのよく似た科の違いを述べさせていただきます。

- ①**心療内科**：基本的には内科領域になり、発症や経過にストレスが関係する病気を心と体の両方から診療する科です。心療内科で取り扱う疾患は多種多様です。過敏性腸症候群、潰瘍性大腸炎、慢性膵炎、動揺性高血圧症、発作性頻拍症、ストレスが関与する虚血性心疾患などです。
- ②**精神科**：精神症状をきたす疾患を治療する科です。心だけの病気を診る科とっていいと思います。眠れない、憂鬱である、いらいらする、幻聴が聞こえる、感情がコントロールできないなどの症状が対象であり、疾患名でいうと統合失調症、躁うつ病、神経症（不安障害、社会恐怖、強迫性障害）などの精神心疾患やアルコール、薬物依存、せん妄、認知症、不眠などです。
- ③**神経内科**：脳神経が炎症や変性で物理的に損傷されてしまい、それが原因となっている病気を治療する科です。その中でも内科で治療、管理できる病気を診ます。たとえば、パーキンソン病、脳梗塞、多発性硬化症、脊髄小脳変性症、進行性筋ジストロフィー、三叉神経痛などの病気です。

心療内科と精神科と神経内科の違いを述べてきましたが、わかったようで、わからないというのが実感だと思います。しかし、これを読んでいただいた方が、なんとなく、こんなもんだなと思っていただければ幸いです。

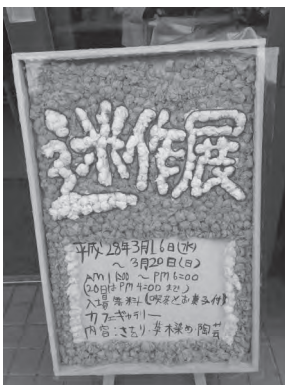
(田中 敏)

お知らせ

5 月に予定されていたなわてまつりは諸般の事情により中止となりました。関係者の皆様にはご迷惑をおかけすることになり大変申し訳ございません。

◆迷作展◆

去る 3 月 16 日～3 月 20 日に今年も迷作展をガリレア・ロッソ・イケダヤで開催いたしました。ご来場いただきました方々に御礼申し上げます。そして、毎年会場を提供してくださっている「池田屋」様、ありがとうございました。



表紙の写真は、迷作展に展示されていた作品の一つです。ステンドグラスをイメージして作られ、とても素敵な空間を創り出してくれました。

みんなと一緒に15年
駆け抜けた140505km



巡回便の送迎や、外出の足として利用者さんを運び続けた、なわて更生園のアトレー7が3月22日をもって引退しました。15年間に走った距離は14万キロ超。優に地球を3周して余りある距離でした。長い間本当におつかれ様です、そしてありがとうございました。

やってきました！



2 月 29 日に日本財団様より、アクティをいただき、なわて更生園のグラウンドにて贈呈式を行いました。これから大切にらせていただきます。ありがとうございました！！

ボランティア御礼

ボランティアセブン様 四條畷おはなし会様
散髪ボランティア「山の会」様 禰様 小川様
福島彩乃様

御礼

石原欽子様 隆光学園様 とうかえで様 亀井尚代様
石堂久代様 青い鳥福祉会様 中西節子様
高橋敏広様 四條畷市民生委員児童委員協議会様
四條畷市社会福祉協議会様 四條畷市区長会様

人事

【入職】

田伏 美鈴	1 2 / 1	葎屋作業所	生活支援員
曲渕 昭夫	4 / 1	なわて更生園	生活支援員
服部 浩宝	4 / 1	津の辺	生活支援員

【離職】

竹村 琴美	1 2 / 3 1	なわて更生園	生活支援員
丸山 かおる	1 / 3 1	みなみの工房	生活支援員
北川 恵子	3 / 3 1	なわて更生園	生活支援員
柳井 悦子	3 / 3 1	なわて更生園	雑務
石橋 陸	3 / 3 1	津の辺	生活支援員

【異動】

木村 武志	4 / 1	しとみやの家設立準備担当 →しとみやの家（ショートステイ）
田邊 浩二	1 / 1	津の辺 →しとみやの家（グループホーム）
奥田 耕治	4 / 1	なわて更生園→津の辺

社会福祉法人 四条啜福社会を支援するための 「賛助会員」 入会のお願い

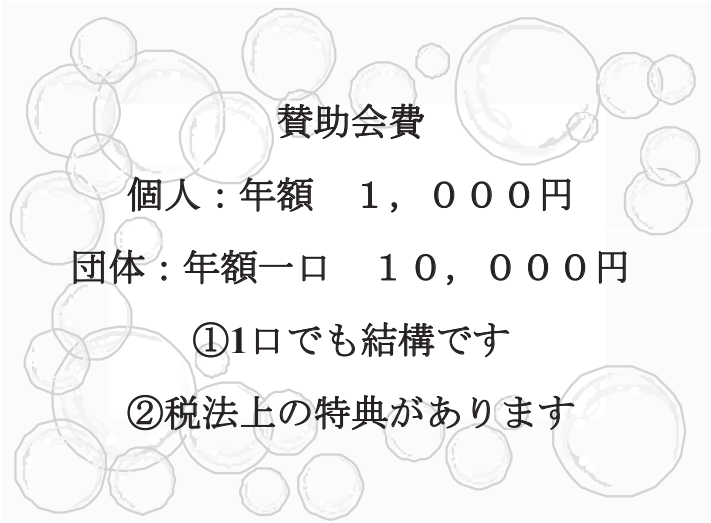
四条啜福社会は平成 2 年 3 月大阪府知事の認可を受け、知的障がい者の育成を目的として、社会福祉事業に理解ある人達や保護者によって設立されました。

今、障がい者問題は、障がい者を保護育成する時代から、社会の構成員として共に地域生活ができるよう福祉サービスの推進が求められる時代となっておりましました。

しかしながら知的障がい者が安心して生活が送れる地域社会への実現にはさらになお多くの方々の御協力、御支援が必要でございます。

つきましては、皆様方には、知的障がい者の現状をご理解いただき本法人活動に、賛助会員として御支援いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、この会費は、「寄附金」として、本法人の経営する第一種および第二種社会福祉事業に使用させていただきます。



賛助会費

個人：年額 1, 0 0 0 円

団体：年額一口 1 0, 0 0 0 円

①1口でも結構です

②税法上の特典があります

『賛助会員』 加入の御礼及び協力者一覧

平成 2 7 年 1 1 月 1 日から平成 2 8 年 2 月 2 8 日までに賛助会員に賛同して下さった方は 1 9 名、総額費は 4 0 万 1 千円でした。ありがとうございました。

ことぶき亭様 亀井輝穎様 加護野香代子様 池田テツ子様 堀内昭治様
土井義輝様 野坂和生様 杉原勝利様 株式会社ガル設計様 森本稔様
三栄商事株式会社様 田中太一郎様 大滝武様 紺屋孝之様 山崎半平堂様
岡崎邦子様 南医院様 (順不同)

支援スタッフ募集 知的障がい者への理解のある方!!

支 援 員 年齢 30 歳迄 長期勤続によるキャリア形成を図るための 若年者等の募集（3号のイ） 要原付免許 勤務地：なわて更生園（四條畷市南野 2463）	正 月給／209,920円～（短大・専門学校卒の場合） 223,320円～（4大卒の場合） （夜勤手当4,000円/4回・処遇改善手当含む） （近辺居住の世帯主に限り住宅手当20,000円支給） （試用期間3ヶ月）	7:00～ 15:30 9:00～ 17:45 13:00～ 21:45 15:00～翌10:00 シフト制（夜勤有）
看 護 師 年齢 45 歳迄 長期勤続によるキャリア形成を図るための 若年者等の募集（3号のイ） 要普通自動車免許 勤務地：なわて更生園（四條畷市南野 2463）	正 月給／278,800円～（正看護師の場合） 258,760円～（准看護師の場合） （職務手当・処遇改善手当含む）（経験考慮します） （近辺居住の世帯主に限り別途住宅手当20,000円支給） （試用期間3ヶ月） 利用者の健康管理、通院介助など	9:00～ 17:45
調 理 員 勤務地：なわて更生園（四條畷市南野 2463）	日給／6,871円 事業所での食事提供にかかる全般	6:30～ 14:00 9:00～ 17:45 14:00～ 19:00 シフト制（時間応相談）
調 理 員 勤務地：津の辺（大東市南津の辺町 1-43）	時給／884円 事業所での食事提供にかかる全般	9:00～ 14:00
世 話 人 勤務地：（大東市内・四條畷市内に複数ヶ所有り）	一泊／14,274円 利用者の身辺援助、食事提供が主な仕事です。	16:00～翌10:00 （仮眠有）
雑 務 勤務地：なわて更生園（四條畷市南野 2463）	時給／884円 利用者の衣類等の洗濯・掃除	9:00～ 17:45

【待遇】各種社会保険、賞与年2回、有給休暇有、交通費支給（上限有り）【応募】まずは下記までお問い合わせ下さい

社会福祉法人 四條畷福祉会

☎072-876-3334

編集後記

法人職員一丸となって、より一層利用者支援に
 真摯に取り組んでいきます。よろしくお願いします。
 担当一同

【短期入所利用状況】※延べ人数（平成27年11月1日～平成28年2月29日）

利用者数(なわて更生園)	男性：263名	女性：204名
--------------	---------	---------

【日中一時支援利用状況】※延べ人数（平成27年11月1日～平成28年2月29日）

利用者数(なわて更生園)	男性：94名	女性：0名
利用者数(津の辺)	男性：107名	女性：74名

社会福祉法人 四條畷福祉会 事業所連絡先 <http://www.nawate.or.jp>

なわて更生園（法人本部事務所）

〒575-0022 大阪府四條畷市南野 2463
 TEL (072) 876-3334 / FAX (072) 876-6006
 E-mail : info@nawate.or.jp

障害者相談支援センター しのが丘

〒575-0002 大阪府四條畷市岡山 2-1-53
 TEL (072) 863-6933 / FAX (072) 863-6939
 ※休日等は転送電話でなわて更生園につながります。

津の辺

〒574-0016 大阪府大東市南津の辺町 1-43
 TEL (072) 878-1118 / FAX (072) 878-1195

四条作業所

〒574-0014 大阪府大東市寺川 3-4-9
 TEL (072) 875-3599 / FAX (072) 875-3580

部屋作業所

〒575-0042 大阪府四條畷市部屋本町 5-8
 TEL (072) 876-4418 / FAX (072) 876-4414

忍丘作業所

〒575-0002 大阪府四條畷市岡山 2-1-53
 TEL (072) 863-6930 / FAX (072) 863-6939

みなみの工房

〒575-0021 大阪府四條畷市南野 5-6-11
 TEL (072) 863-1200 / FAX (072) 863-1201

サザンの家

〒575-0021 大阪府四條畷市南野 14-39

グループホーム 清滝の家

グループホーム 二丁通の家、北条の家

グループホーム しとみやの家

詳細は、各所までお問合せ下さい。